

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 地域と連携した独自性のある学校経営の推進
-----	------------------------

施策主管課	学校教育課	総合計画記載頁	112ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	9 信頼される学校教育を推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。
------	------------------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------------------------

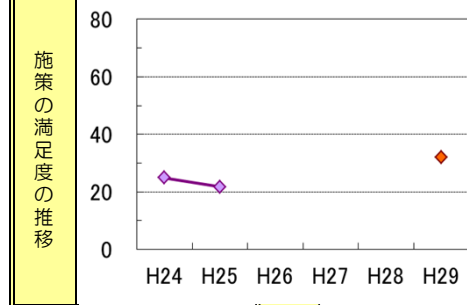
2 施策の取組状況

施策目標	各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」と回答した保護者・地域住民の割合(%)	単年度目標値	89.2%	90.5%	92.2%	93.7%	95.0%			95.0%	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	24.9%	21.7%			
	現状値	87.7%	実績値	93.3%	93.9%				目標値(H29)	31.9%	前年度からの増減				-3.2%					
	目標値(H29)	95.0%	単年度の達成度	104.6%	103.8%															
指標2	「魅力ある学校づくり地域協議会」による学校教育支援活動数(事業数)	単年度目標値	830	850	870	890	910	930	A	【参考】中核市等との水準比較	学校と地域が連携して、学校を支援する協議会等を設置している小学校及び中学校の割合(%)		中核市平均	29.6	40.5					
	現状値	807	実績値	842	865						実績値	100	100							
	目標値(H29)	930	単年度の達成度	101.4%	101.8%						中核市での本市の順位	1位/41市中	1位/41市中							
			単年度目標値						中核市平均											
	現状値		実績値						実績値											
	目標値(H29)		単年度の達成度						中核市での本市の順位											

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]	

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 現行学習指導要領の改訂において、教育基本法改正を踏まえ、子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域が相互に連携しつつ社会全体で取り組むことが必要であることが示されている。 文部科学省はコミュニティスクールの導入を推進しており、全国の小中学校の指定状況は平成25年4月1日現在1,491校に拡大している。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動や、各学校における保護者や地域住民の理解を得るための積極的な情報発信などの取組が定着しているが、一方で「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動については市民への周知・啓発が十分でないことなどから、前年度と同水準の結果になっていると考えられる。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度の「魅力ある学校づくり地域協議会」の全校設置により、学校と家庭、地域、企業の連携の基盤が醸成され、学校、地域の実情に応じながら、地域とともにある学校づくりが推進されている。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業 ※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	○★	・小中一貫教育の充実 ・地域の教育力を生かした教育活動の推進	市立小中学校, 全児童生徒, 教職員	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	計画どおり	20,530	H22	独自性	平成24年度からの「小中一貫教育・地域学校園」は全市でおおむね順調に実施されており, 本年度もカリキュラムはもとより, 乗り入れ授業等諸取組の着実な実施を支援する。また, 今年度中に, これまでの実践の検証を進め, 平成27年度から本市の実情に応じた持続可能な制度となるよう改定する。
2	魅力ある学校づくり地域協議会活動推進事業	○★	・魅力ある学校づくり地域協議会への支援充実	魅力ある学校づくり地域協議会	地域人材や施設の有効活用, 市民協働による児童生徒の安全確保や健全育成, 学校施設を活用した地域活動の活性化などの推進	計画どおり	36,702	H18	独自性	各小中学校を拠点に, 学校, 家庭, 地域, 企業が連携・協力しながら, 地域の教育力を生かした学校教育への支援と家庭地域の教育力向上のための活動を充実させていくとともに, 「地域とともにある学校」に向けた取組の充実を図っていく。
3	学校協力者「街の先生」活動事業		家庭・地域・企業等による学校支援の充実	宇都宮市立の全小中学校93校	地域の教育力を生かした教育活動を推進するため, 「街の先生」登録者の充実を図る	計画どおり	89	H15		地域の教育力を生かした教育活動が活発に行われており, 本事業は継続するが, 今後は魅力ある学校づくり地域協議会事業におけるボランティア活動と併せて, 本事業をあり方を見直していく。
4	小規模特認校事業		特色ある学校づくりの推進	清原北小学校 城山西小学校	複式学級の解消	計画どおり	595	H17		学校と地域の連携により, 地域の特性や教育資源を積極的に活用した教育活動が実施され, 複式学級を解消できているが, 学区内児童だけでは再び複式学級編制になることが見込まれるため, 児童数の確保につながる特色ある教育活動を引き続き充実させていく。
5	小規模特認校放課後活動事業補助金		特色ある学校づくりの推進	小規模特認校において放課後活動事業を実施する当該地域の団体(放課後活動運営委員会)	児童の放課後活動事業への登録	計画どおり	7,598	H17		地域が主体となって, 授業日や長期休業期間中等に, 全児童を参加対象とした放課後活動等が行われており, その充実した活動プログラムが小規模特認校の大きな特色の一つとなっている。小規模特認校独自の特色ある教育活動のさらなる充実に向け, 児童や保護者のニーズを踏まえながら地域が主体となった活動プログラム等に基づいて, 放課後活動に取り組めるよう支援していく。
6	通学区域の見直し		特色ある学校づくりの推進	・大規模, 小規模に係る学校区 ・遠距離通学地区 ・土地区画整理事業施行地区など	通学区域審議会の開催	計画どおり	263	H12		「学校規模の適正化に向けた通学区域見直し実施計画」(平成16年2月策定)に基づき, 児童生徒の就学実態や地域コミュニティとのつながりなどを踏まえた通学区域の見直しを行う。通学区域の見直しを行うに当たっては, 通学区域審議会を開催し, 様々な視点から専門的かつ幅広い意見をいただきながら, 検討・実施していく。
7	学校マネジメントシステムの推進	★	学校マネジメントシステムの充実	宇都宮市立小・中学校教職員, 魅力ある学校づくり地域協議会委員	学校評価の実施, 結果の公表等	計画どおり	4,725	H20		各学校が, アンケート等によって明らかになった現状や課題などについて, 魅力ある学校づくり地域協議会による学校関係者評価を通して, 改善策などを共に考え, 実践に生かすことにより, 地域とともにある学校づくりを推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆「小中一貫教育・地域学校園」を推進する中で, 園内の各学校が情報交換を行い, 効果的な取組を共有しているが, 地域と連携した学校運営については依然として学校間で差が見られる。</p> <p>◆「魅力ある学校づくり地域協議会」において, 地域とともにある学校づくりを推進するため, 学校運営に保護者・地域住民の意見をより反映させ, 参画機能の充実を図る必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆「小中一貫教育・地域学校園」を基盤として, 各学校が家庭や地域, 企業と連携した取組を進めていくためには, 「魅力ある学校づくり地域協議会」が重要な役割を果たすことから, 本協議会による学校運営への参画機能などの充実を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆「小中一貫教育・地域学校園」について, これまでの実践を検証し, 平成27年度から本市の実情に応じた持続可能な制度となるよう改定するとともに, 「魅力ある学校づくり地域協議会」活動と一体的に進めることにより, 地域とともにある学校づくりを一層推進していく。 ◆家庭や地域等からの理解と協力を得ながら, 特色ある学校運営や教育活動を行うため, 各学校が地域に対し, これまで以上に積極的に情報を発信するとともに, 学校マネジメントシステムを有効に活用し意見を反映させるなど, 「魅力ある学校づくり地域協議会」による学校運営への参画機能などの充実を図る。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>